

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
精神保健福祉相談援助の基盤 I		必修 (精) 選択 (社.心)	2	2	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
田村 正人	B308	masato.tamura	水曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p><目的>学生が精神保健福祉士の役割と意義ならびに社会福祉士の役割と意義について理解し、さらに相談援助の概念と範囲および相談援助の理念について理解することで、ソーシャルワーカーとして精神保健福祉における相談援助について説明できるようになることを目的とする。</p> <p><概要>精神保健福祉における精神保健福祉士の役割と意義、相談援助の概念と範囲、理念について、事前に専門用語や概念等についての調べ学習の課題を提示し、教科書を中心に毎回レジュメを配布し講義を行う。学生同士のディスカッション、グループワークを取り入れて能動的な学習を通じて専門的な知識、価値、技術を身に付けることを目指す。</p>				
学習上の助言	精神保健に関する基礎的な内容の科目なので、社会福祉全般の他科目との関連が多いので、意識して事前事後の学習をすることで、効果的な知識の定着が図ることができる。				
教科書	新・精神保健福祉士養成講座 精神保健福祉相談援助の基盤 (基礎・専門) 第2版/日本精神保健福祉士養成校協会/中央法規出版				
参考書	指定参考書なし。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	精神保健福祉士の役割と意義について理解し説明することができる			HSU(1)、WP(2)	
②	相談援助の概念と範囲について理解し説明することができる			HSU(2)、WP(4)(5)	
③	相談援助の価値と理念について理解し説明することができる			HSU(2)、WP(4)(5)	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション (講義概要・講義の進め方・評価方法等)	講義・GW	シラバスを読んでくる		4
2	精神保健福祉士の役割と意義① 精神保健福祉士制度化の歩みについて学ぶ	講義・GW	第1章第1節を精読する 事前課題に取り組む		4
3	精神保健福祉士の役割と意義② 精神保健福祉士法の専門性について学ぶ	講義・GW	第1章第2節を精読する 事前課題に取り組む		4
4	社会福祉士の役割と意義について学ぶ	講義・GW	第2章を精読する 事前課題に取り組む		4
5	相談援助の定義と概念① 相談援助の定義について学ぶ	講義・GW	第3章第1節を精読する 事前課題に取り組む		4
6	相談援助の定義と概念② 相談援助活動の定義と概念について学ぶ	講義・GW	第3章第2節を精読する 事前課題に取り組む		4
7	相談援助の価値と理念①ソーシャルワーク (相談援助) の価値と理念、価値・理念の具体的内容について学ぶ	講義・GW	第4章第1、2節を精読する 事前課題に取り組む		4
8	相談援助の価値と理念② 価値・理念の具体的内容について学ぶ	講義・GW	第4章第2節を精読する 事前課題に取り組む		4
9	中間のまとめ、精神保健福祉士の	講義・GW	第5章第1節2節を精読する 事前課題に取り組む		4
10	相談援助の形成過程① ソーシャルワークの源流と形成過程について学ぶ	講義・GW	第5章第1節を精読する 事前課題に取り組む		4
11	相談援助の形成過程② 日本におけるソーシャルワークの形成過程について学ぶ	講義・GW	第5章第2節を精読する 事前課題に取り組む		4
12	相談援助の形成過程③ 精神保健福祉分野におけるソーシャルワークについて学ぶ	講義・GW	第5章第3節を精読する 事前課題に取り組む		4
13	精神保健福祉分野における相談援助の体系① 精神保健福祉分野における相談援助活動の対象について学ぶ	講義・GW	第6章第1節を精読する 事前課題に取り組む		4
14	精神保健福祉分野における相談援助の体系② 援助活動の目的と意義、現状と今後の展開について学ぶ	講義・GW	第6章第2、3節を精読する 事前課題に取り組む		4
15	全体のまとめ、精神保健福祉士の可能性について考察する	講義・GW	事前課題に取り組む		4
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照				

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		60	0	0	0	40	100
総合力指標	知識・技術力	30	0	0	0	10	40
	思考・推論・創造する力	20	0	0	0	10	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	5	5
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	5	5
	コミュニケーション力	0	0	0	0	5	5
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	5	5
	問題を発見・解決する力	10	0	0	0	0	10
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	学期末に定期試験を実施して、科目内容の理解度を評価する。 試験範囲は講義で用いた教科書、配布資料から出題するので、予習復習を行い理解を深め、知識の定着を図ること。 試験形式（筆記試験） 問題形式（選択式、記述式）				Microsoft Teams にて試験解答例を提示する
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	グループワークを毎回行い、取組みの姿勢について評価する。				授業中および講義の最後に総評を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
<ul style="list-style-type: none"> ・ 精神保健福祉士取得希望者は必ず履修すること。 ・ 今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもあり得る。 ・ 対面授業で実施するが、大学が公表している感染対策及び教員が示す方法を遵守すること。 ・ 今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によっては Teams を使った同時双方向型授業もあり得る。 ・ Teams を使った同時双方向型授業になった場合は、授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を推奨する。 							